

統合方針改定案に係る質疑・意見等の概要(新設中学校の学校づくり等、学校運営・教育活動 抜粋)

※この資料は、昨年実施した統合方針改定案の意見募集の際に寄せられた意見・質問のうち、新設中学校の学校づくり等、学校運営・教育活動に関するものを抜粋したものです。

整理番号	項目	区分	意見・質問(要旨)	回答・検討結果
1	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	小5の子どもは中3から統合となると思うが、統合新校開校に向けて、事前に制服選びと いった新しい学校づくりを行っていくという理解でよいか。	校名の決定は令和5年度に、校章、標準服などは令和5年度から検討を行って、令和6年度 に決定していく予定です。従って、現在の小学4年生、5年生の世代の子どもたちが参加し て検討を進める予定です。大鳥中学校の例では校章のデザインや校歌のフレーズ部分につ いては生徒が作成しました。また、標準服などについて、生徒のほか通学区の小学生にも アンケートを実施するなど小学生も取組に参加しました。 【統合移行期間中(令和5・6年度)における新しい学校づくりという機会を生かした取組の 実施について、統合方針に追記しました。】 ※令和3年度の説明会での回答のため、学年は1年前のものになっています。
2	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	子どもが現在小学5年生で、校舎が完成しないまま卒業することになるが、制服や校歌を作 るといった取組に参加できるのか、できるのであればいつ頃か教えてもらいたい。	
3	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	子どもが小学4年生だが、新しい学校づくりに生徒が取り組むに当たって、新設校舎を経験 しない世代でも学校作りに関与できるかについて教えてもらいたい。	
4	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	統合新校開校に向けた新しい学校づくりを行っていくとのことだが、隣接校制度を使った場 合、本来の学区ではない、統合新校に通う可能性があるが、そちら側の新しい学校づくりに 参加できるよう配慮を検討してもらいたい。	統合を2校同時に行うことは区では初めての取組となりますので、ご意見を踏まえまして、 今後どのような対応ができるか検討していきます。
5	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	隣接校制度を使った場合、本来の学区ではない、統合新校に通う可能性があるが、事前の 交流活動に参加できるような機会を検討してほしい。	
6	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	子どもたちが統合による新しい学校づくりを経験できることは、大変貴重な機会である。教 育委員会には前向きな情報発信をお願いしたい。	これまでの統合の取組を踏まえると、新校の設立という特別な機会を捉え、子どもたちが新 しい学校づくりに参加することは、新校に通うことを自分ごととして意識し、目的や楽しみを もって開校を迎えるために重要であり、子どもたちの成長にもつながるものと考えて います。今回の統合においても、新しい学校づくりという機会を生かした取組を実施してい くとともに、積極的な情報発信に努めていきます。 【統合移行期間中(令和5・6年度)における新しい学校づくりという機会を生かした取組の 実施について、統合方針に追記しました。】
7	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	教育活動について統合して変わることについて教えてもらいたい。	新校の特色ある教育活動が展開されるとともに、教員配置の充実により複数の教科で複数 の教員を配置することが可能になります。小規模校だと1人の教員がその教科を全ての学年 で受け持つということがありますが、教員が増えることで学年やクラスで担当を分けると いった教育上の工夫が可能になります。 また、生徒においては、人間関係の広がり、友人関係が広がったことが良かったというこ とが大鳥中学校のアンケート結果で確認できることです。 さらに、部活動の数が増えたり、教育活動においてグループ分けの選択肢が増えたり、クラ ス替え等によりグループのメンバーを固定化させずに編成することができる等学校運営に おいて工夫の幅が増えてくるといったメリットがあります。
8	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	私学への入学が増えていると聞いている。魅力ある学校づくりをお願いしたい。	目黒中央中学校、大鳥中学校とこれまでの統合の取組を通し、魅力ある学校づくりの重要 性を認識しています。今回の統合による新設中学校についても、魅力と特色のある学校とな るよう努めていきます。
9	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	統合に当たって、校風や伝統などは変わっていくものと思うが、どのようなものが変わって、 どのようなものが変わらないのか。目黒として、令和の時代に即した教育活動などがあれば 教えてもらいたい。	今後、特色ある教育活動を検討していく中で、統合前からのものを引き継いでいくのか、新 たなものをどう取り入れていくのかといったことを、検討していきます。基礎的な指導につ いては変わりませんが、特色ある教育づくりとして、例えば、これまでの統合における大鳥中 学校のイングリッシュキャンプ、目黒中央中学校の教科センター方式など、統合を契機として時 代に即した新たな教育活動の展開が考えられます。
10	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	統合をすることで新たな人間関係などわくわくすることがたくさんあると考えている。学校の 特色づくりについてどのように決められ、過去どのような結果を生んでいるか。新校では現 在どういった検討がされているか教えてもらいたい。	これまでの統合の取組では、特色ある教育活動について教員と教育委員会を中心とした検 討部会を設け検討を行い、協議組織の意見や各PTAを中心としたアンケート結果等を踏ま え、内容を固めていきました。今回の統合による新設中学校の特色は、今後検討していく こととなりますが、より魅力ある学校となるよう努めていきます。

整理番号	項目	区分	意見・質問（要旨）	回答・検討結果
11	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	ICTの整備などを新校の特色とした場合には、新しい設備が必要となり新校舎でないとできないと思うが、その場合暫定校舎の期間中はどのように対応をするのか。	新設中学校の特色づくりは今後検討していきますので、可能性の話となりますが、暫定校舎においても新校の特色に配慮して対応していきます。例えば、特色は一概にハードだけではなく、ソフト面での魅力づくりなどは先行して実施していくことも含めて考えていきます。また、目黒中央中学校では特色である教科センター方式について、統合前から準備を行ってきた例があります。
12	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	統合をすることによって、明るく勢いがある学校をつくっていくという機会を与えてくれて、嬉しい。多くの人が積極的に学校づくりに携わることで、多感な時期の子に対し、多くの人の目が行き届くよう進めてもらいたい。	統合の取組は学校の教職員や生徒、保護者、地域の方々など、地域ぐるみで取り組んでいく事業だと考えています。統合時はもちろん、その後も地域に根差した学校となるように取り組んでいきます。
13	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	単に統合を行っていくのではなく、私立に行かず、公立に通ってもらえるような魅力づくりが必要なのではないかな。	各区立中学校において魅力ある教育活動を行っていくよう努めていきます。
14	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	統合により、標準服についてはどうなるのか教えてもらいたい。	目黒中央中学校、大鳥中学校の統合では新たに標準服を定めました。また、在学時の統合により標準服の買い替えが必要となる学年については、協議組織等からの意見を踏まえ、ご家庭の新たな負担が無いよう公費で負担をしました。今後、協議組織でご意見をお聴きし、標準服の要否や費用負担について検討していきます。
15	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	中3の際に統合となるが、標準服についてはどうなるのか教えてもらいたい。	
16	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	制服についてはどうなるのか。	
17	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	標準服についてはまた買わなければならないのか、教えてもらいたい。	
18	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	九中や七中に通っている子たちはそれぞれの制服を持っているわけだが、標準服は新しいものを購入するのか。	
19	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	子どもが中学3年生のタイミングで、統合を迎えることになるが、制服については買い替えとなるのかどうか教えてほしい。	
20	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	新設中学校開校に向けて、制服はどうなるのか。途中で制服が変わるのか。	
21	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	制服についてはどうなるのか。	
22	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	制服はもう一度買い替えなければならないのか。	
23	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	統合後の制服についてどうなるのか教えてもらいたい。それぞれこれまでの制服を着ることになるのか。	
24	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	制服は買いなおすことになるのか教えてもらいたい。	
25	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	標準服についてはどうなるのか教えてもらいたい。	
26	新設中学校の学校づくり等	保護者説明会	標準服を公費で負担するとのことだが、血税で賄われる。数年のことであれば、それまでのものを使い続けられればよいのではないかな。	今後、協議組織でご意見を伺いながら、標準服の要否や費用負担について検討していきます。新たな標準服を定めることとなった際は、リサイクルといった取組も含めて検討していく必要があると考えています。
27	新設中学校の学校づくり等	全体説明会	新設中学校に移転した場合、制服は新たに購入しなければならないか。	目黒中央中学校、大鳥中学校の統合では新たに標準服を定めました。また、在学時の統合により標準服の買い替えが必要となる学年については、協議組織等からの意見を踏まえ、ご家庭の新たな負担が無いよう公費で負担をしました。今後、協議組織でご意見をお聴きし、標準服の要否や費用負担について検討していきます。

整理番号	項目	区分	意見・質問（要旨）	回答・検討結果
28	新設中学校の学校づくり等	地域説明会	意見として子どもが制服や校章などを作るという取組は統合とは関係がないと思う。標準服などに不都合なことがあるのであれば、統合とは切り離して考えるべきではないか。	新しい学校づくりに参加するという取組は、他の学校では経験できない貴重な機会だと考えています。
29	新設中学校の学校づくり等	地域説明会	小学校と中学校の教師が、それぞれ入れ替えて授業を行うといった取組が効果が上がっていると聞いている。統合後も続けてもらいたい。	小中学校の連携授業については今後も実施していきます。
30	新設中学校の学校づくり等	意見募集	すでに統合を体験した大鳥中学校の生徒のコメントの紹介のなかで、新設中学の決め事を生徒たちが考えたことが形になったというような内容がありましたが、既存の統合される中学の子たちが参加して考えるということでしょうか？未来的に通うことになる小学生も検討に参加しているのでしょうか。	校歌、校章、標準服作りなどは令和7年度に向けた取組のため、中学校の在学中に統合となる現小学校4年生、5年生が中学生となる令和5・6年度の時期をメインに取り組んでいくことになります。また、過去の事例では標準服などについて、通学区域の小学生にもアンケートを実施するなど小学生も取組に参加しました。 ※令和3年度の説明会での回答のため、学年は1年前のものになっています。
31	新設中学校の学校づくり等	意見募集	小学生段階での中学校の決め事には参加させたくない。中学受験の可能性があるため。	校歌、校章、標準服作りなどは令和7年度に向けた取組のため、中学校の在学中に統合となる現小学校4年生、5年生が中学生となる令和5・6年度の時期をメインに取り組んでいくことになります。また、過去の事例では標準服などについて、通学区域の小学生にもアンケートを実施するなど小学生も取組に参加しました。小学生の参加については、新しい学校への意識の醸成等を図るために行うものですが、実施方法については、今後検討していきます。 ※令和3年度の説明会での回答のため、学年は1年前のものになっています。
32	新設中学校の学校づくり等	意見募集	統合した目黒中央中学校、大鳥中学校のICT化や英語教育の評価が好評なら、それはすべての現中学生にも実施されるべきです。子どもたちの意見も十分に聞いて、今の中学校生活を充実させて下さい。その先に将来の計画を作って下さい。	統合新校の特色として、目黒中央中学校でのICT環境の充実や、大鳥中学校での英語教育の推進を行ってきました。これらの取組の成果を基に、ICT環境の充実として全区立中学校の普通教室に、プロジェクターと教育用パソコンを整備しています。また、英語教育の推進として、1日を通して英語のみを使用した日帰り体験型英語学習事業を夏季休業中に実施し、希望する生徒が参加しています。生徒・保護者・教員・地域と協力しながら魅力ある統合新校を作り上げるとともに、統合新校のより良い取組について他校の教育活動にも反映していけるよう努めていきます。
33	新設中学校の学校づくり等	意見募集	(統合期・暫定校舎・2校舎生徒が通学)落ち着かない環境下での学校生活となる。説明会時目黒区では、統合に当たって学校づくりに関わったり(標準服や校章作り)、関わる人数が増え人間関係が広がるという点で前向きに考えているとの話でしたが、精神論では統合期の子ども達の負担は解消しません。暫定校舎(既存校舎)に2校分の生徒が集められ、落ち着かない環境下で過ごすことになります。生徒にしわ寄せがいかないようにするために、 ⇒統合期においても、統合前の少人数教育を継続してください。 ⇒通常時より、一人一人に目が届くように、教職員の人数を増やしてください。 スクールカウンセラーを増やすのは対策にはなりません。	これまで統合の取組では、統合前後の生徒の心のケアや学校運営、教育活動の充実を図るため教員の加配をしています。また、統合前の少人数教育で得られていた効果を継続できるよう、また子どもたちが安心し、落ち着いた学校生活を送れるよう、なるべく多くの教員が、統合前の学校から引き続き統合新校に着任できるよう努めていきます。
34	新設中学校の学校づくり等	意見募集	ユネスコスクールやインクルーシブ教育等、ソフト面での充実に関しても子どもたちや地域住民からも広く意見を募り、検討して頂きたいと思います。	統合による新設中学校の学校づくりは、統合対象校の伝統や校風、地域性などを踏まえながら、学校関係者、保護者、地域の方々等による協議を通じて進めていきます。
35	新設中学校の学校づくり等	意見募集	通学途中で統合となる学年は、制服はどうなりますか。(当初より統合後の共通のものでしょうか、統合しても別々の制服でしょうか、買い直しでしょうか)	目黒中央中学校、大鳥中学校の統合では新たに標準服を定めました。また、在学時の統合により標準服の買い替えが必要となる学年については、協議組織等からの意見を踏まえ、ご家庭の新たな負担が無いよう公費で負担をしました。今後、協議組織でご意見をお聴きし、標準服の要否や費用負担について検討していきます
36	学校運営・教育活動	保護者説明会	受験の時期に差し掛かることもと思うが、これまでの教員が残るのか、まったく新しい教員となるのか、配置について過去どのようになっていたか教えてもらいたい。	教員の配置は東京都教育委員会の所管となりますが、統合した時に、子どもたちが安心して学校生活を送れるようになるべく多くの教員が、統合前の学校から引き続き着任できるよう努めていきます。大鳥中学校の例では、両校の教員と新しく異動などで配属となる教員を合わせて、それぞれおよそ約1/3ずつ配属されました。なお、これまでの例では、統合の準備組織において、学習評価基準などのすり合わせや生徒に関する引継ぎ等を行ってきました。
37	学校運営・教育活動	保護者説明会	新校になるということは教員は全員交代となるのか。	
38	学校運営・教育活動	保護者説明会	教員の配置についてはどうなるのか。	
39	学校運営・教育活動	保護者説明会	教員の配置について、過去どのような配分になっていたか教えてもらいたい。	
40	学校運営・教育活動	保護者説明会	教員の配置についてはどうなるのか。	

整理番号	項目	区分	意見・質問（要旨）	回答・検討結果
41	学校運営・教育活動	保護者説明会	子どもが中3の時に統合になるが、推薦枠や進路指導についてはどのようになるか。	進路指導担当の配置に留意して、継続的に進路指導を行っていきます。進路指導等については、新校になったためにリセットされるわけではなく、開校に向けた準備組織において、事前調整を行い、継続性のある指導を行っていきたく考えています。また、中学校第3学年の4月から12月までの成績が、都立高校の内申の資料となりますが、公正な評価基準の中で評価を行っていきます。推薦枠については、学校ごとに枠数が決まっているものではないため、他校と同様の条件で推薦を決めることとなります。
42	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合後にまったく新しい先生が評定を行うということは内申にも関わるため心配である。	成績の付け方には統一の基準があるため、教員により成績の付け方が変わるということはありません。令和4年度から準備組織を置き、評価基準などにずれが生じないように進めていきます。また、教育委員会でも成績が適正に付けられているか、これまで同様チェックを行っていきます。
43	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合時から両校の生徒がミックスされたクラス編成になるのか。	統合時から両校の生徒を合わせたクラス編成をする予定です。
44	学校運営・教育活動	保護者説明会	特別支援教室に通う子どもがいて、中学校3年生の時に統合を迎えるが、環境の変化が不安である。別の学校に通うか悩んでおり、特別支援教育の関係で何らかの対応を図っていただけののであれば統合対象校に通いたい。	区では特別支援教育支援員の配置を行っており、配置に当たっては、各校からの派遣要請を受けて、学校への訪問や児童・生徒の行動観察、学校長からの状況聴取などを行ったうえで、配置検討及び決定をしています。統合による環境の変化に伴って、生徒の状態が変化した場合は、学校長の派遣要請により、特別支援教育支援員の配置時間数の再査定を行います。生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、保護者の理解を得るよう努めながら、特別支援教育支援員を適切に配置していきます。
45	学校運営・教育活動	保護者説明会	特別支援教室についても各校へ引き続き設置することを統合方針に書いていただくと保護者は安心する。	特別支援教室については、区立中学校全校に設置していますので、統合による新設中学校においても引き続き設置します。 【特別支援教室を新設中学校へ引き続き設置することを統合方針に追記しました。】
46	学校運営・教育活動	保護者説明会	正規教員や生徒数が増えたことによって、大鳥中学校の統合の際は部活動の数がどのように変化したか教えてほしい。	大鳥中学校の統合では、統合対象校にある部活動は、統合後も継続することを基本とし、第三中学校で10部、第四中学校で16部であったものが、統合後は20部になりました。統合により部員が増えることでチームを編成できる、多様な練習ができる等のメリットがあります。一方で、部活動数が増えることにより、施設の利用に一定の制約が生じ、活動において工夫していく必要が生じる場合があります。
47	学校運営・教育活動	保護者説明会	これまでの統合において、部活動の数がどのように変化したか教えてほしい。	
48	学校運営・教育活動	保護者説明会	過去、統合により入っていた部活がなくなったといったことはあったか。	
49	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合によって部活動の数はどうなったか。過去、統合により入っていた部活がなくなったといったことはあったか。	
50	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合をすることで、一度に人数が増えるが、急激に学力が下がったり、受験に影響などは出なかったか教えてほしい。	
51	学校運営・教育活動	保護者説明会	過去の統合の事例で、大幅に成績が変わってしまったというような事例はあるか。	統合により、学力が急激に下がったような状況はありません。教員配置について配慮するとともに、準備段階から評価基準のすり合わせを行うなど、生徒への影響が発生しないよう進めていきたく考えています。
52	学校運営・教育活動	保護者説明会	いじめや不登校などへの影響はあったか。	統合によりいじめ・不登校が問題になったということはありません。事前に教員間で必要な情報連携を行うなど、不安を解消していけるよう進めていきたく考えています。
53	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合によるメリットを感じるどころが多くあるが、デメリットについても聞きたい。スクールカウンセラーの配置といったことが資料にあったが、中学校生活の途中で統合となり、教育環境の変化がある中で、大鳥中学校の例でデメリットがあったか教えてもらいたい。	大鳥中学校の統合において、統合を契機に不登校が問題となったという事例はありません。具体的な対応としては、スクールカウンセラーの配置日数を増やして相談体制の充実を図りました。また、統合の2年前から両校の交流活動を行うとともに、校章・校歌・標準服の作成等の新しい学校づくりに生徒が参加するなど新しい学校の開校に向けて生徒に前向きに取り組んでもらったことも、円滑な開校につながったものと考えています。統合の取組に、どのように生徒、保護者がかかわっていけるかが重要だと認識していますので、その点に留意して取組を進めていきたく考えています。
54	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合をすることで、環境の変化によって、子どもの心がざわつくのではないかという懸念を持っている。受験のことなどもあるので、教員の手厚いフォローや、過去の事例で問題が発生して対応したようなことがあったら教えてもらいたい。	大鳥中学校の統合においては、スクールカウンセラーの追加配置、教員の加配措置などを活用しながら子どもたちの環境の変化への対応を図りました。また、事前に両校の交流活動や、校章・校歌・標準服の作成等の新しい学校づくりに生徒が参加するなどの取組により、気運の醸成と新しい学校への円滑な移行を図りました。また、生徒の評価などについては、共通の基本的な考え方があり、学校によって大きく異なるものではありませんが、各学校で指導方法が異なる場合がありますので、評価のぶれが生じないように事前に専門の部会を作って、継続的に調整を図りました。
55	学校運営・教育活動	保護者説明会	統合対象の中学校ではきめ細かい指導をしていると聞いているが、統合を通じて、良くない方向に進まないよう進めていただきたい。	区では、各中学校において少人数指導の加配教員や外国語指導員、学習指導員の配置による少人数習熟度別学習やティーム・ティーチングによるきめ細かい指導を実施しています。統合後も引き続き、きめ細かい指導を行っていきます。

整理番号	項目	区分	意見・質問（要旨）	回答・検討結果
56	学校運営・教育活動	全体説明会	中学によって成績の付け方が学校ごとに異なり、学校によってよい成績が取りやすい、取りづらいといった噂を聞く。公平性の観点からチェックするような制度はあるのか。	各教科、各単元において、評価基準を設けて、それぞれの学校において評価を行っています。中学校においては、年度初めの保護者説明会等で、評価の基準についてお示しをして、説明をしています。学習指導要領に照らして評価基準を設定しており、教育委員会は適正に評価が行われているかチェックし、指導・助言を行っています。
57	学校運営・教育活動	地域説明会	教員はがらっと変わってしまうのか教えていただきたい。	教員の配置は東京都教育委員会所管となっており、各校の教員が統合時に全員残ることはないと考えますが、統合したときに、子どもたちが安心して学校生活を送れるようになるべく多くの教員が、統合前の学校から引き続き着任できるよう努めていきます。大鳥中学校の例では、両校の教員と新しく異動などで配属となる教員を合わせて、それぞれおよそ約1/3ずつ配属されました。なお、これまでの例では、統合の準備組織において、学習評価基準などのすり合わせや生徒に関する引継ぎ等を行ってきました。
58	学校運営・教育活動	地域説明会	自分の子が高校受験を控えた中3に統合となるが、生活の様子や成績の付け方、推薦枠について伺いたい。	進路指導担当の配置に留意して、継続的に進路指導を行っています。進路指導等については、新校になったためにリセットされるわけではなく、開校に向けた準備組織において、事前調整を行い、継続性のある指導を行っていきたくと考えています。また、中学校第3学年の4月から12月までの成績が、都立高校の内申の資料となりますが、公正な評価基準の中で評価を行っています。推薦枠については、学校ごとに枠数が決まっているものではないため、他校と同様の条件で推薦を決めることとなります。
59	学校運営・教育活動	地域説明会	統合後の部活動についてはどうなるか。	大鳥中学校の統合では、統合対象校にある部活動は、統合後も継続することを基本とし、第三中学校で10部、第四中学校で16部であったものが、統合後は20部になりました。統合により部員が増えることでチームを編成できる、多様な練習ができる等のメリットがあります。一方で、部活動数が増えることにより、施設の利用に一定の制約が生じ、活動において工夫していく必要が生じる場合があります。部活動については統合後も継続することを基本と考えていますが、協議組織や保護者の方々等のご意見を伺いながら、具体的な取扱いを検討していきます。
60	学校運営・教育活動	地域説明会	統合後に部活動に制約が発生して、部活の数がだいぶ減ったと聞いている。部活動がそのまま引き継がれたという内容は少し違うと感じた。校庭が狭くなる以上、制約がある点は伝えていただきたいと思う。	大鳥中学校の統合では、統合対象校にある部活動は、統合後も継続することを基本とし、第三中学校で10部、第四中学校で16部であったものが、統合後は20部になりました。統合により部員が増えることでチームを編成できる、多様な練習ができる等のメリットがあります。一方で、部活動数が増えることにより、施設の利用に一定の制約が生じ、活動において工夫していく必要が生じる場合があります。
61	学校運営・教育活動	地域説明会	ITいじめといった問題が騒がれる中、学校規模が大きくなることで心配をしている。十分な対応をお願いしたい。	ITいじめについては、学校規模に関わらず区としても対策が必要な事項と理解しており、全教員が配慮していくとともに、保護者とも連携をしていきながら、情報モラル教育を行っていきたくと考えています。
62	学校運営・教育活動	意見募集	統合後に教員がガラッと変わってしまうのはやめてほしい。	教員の配置は東京都教育委員会所管となっており、各校の教員が統合時に全員残ることはないと考えますが、統合したときに、子どもたちが安心して学校生活を送れるようになるべく多くの教員が、統合前の学校から引き続き着任できるよう努めていきます。大鳥中学校の例では、両校の教員と新しく異動などで配属となる教員を合わせて、それぞれおよそ約1/3ずつ配属されました。なお、これまでの例では、統合の準備組織において、学習評価基準などのすり合わせや生徒に関する引継ぎ等を行ってきました。
63	学校運営・教育活動	意見募集	統合後に教員はどのように配置されるのか。	
64	学校運営・教育活動	意見募集	勉強の進捗や内容は事前に合わせていただけるかと思いますが、受験に対する推薦枠等はどうか。	進路指導担当の配置に留意して、継続的に進路指導を行っています。それまでの進路指導等については、新校になったからといって、リセットされるわけではなく、開校に向けた準備組織において、事前調整を行い、継続性のある指導を行っていきたくと考えています。また、中学校第3学年の4月から12月までの成績が、都立高校の内申の資料となりますが、公正な評価基準の中で評価を行っています。推薦枠については、学校ごとに枠数が決まっているものではありません。そのため、他校と同様の条件で推薦を決めることとなります。
65	学校運営・教育活動	意見募集	現在、碑小学校・鷹番小学校の知的特別支援学級を卒業し、中学校の特別支援学級に進学する場合は、住所により、大鳥中学校と第八中学校に分かれています。別の中学校に進学したことで、小学校で築いた友人との絆が途切れてしまうことは、とても残念なことです。調整区域を設定するなどの措置を講じていただけないでしょうか。また、支援学級の生徒の通学路が通常学級の生徒と異なる場合や生徒の特性を考慮し、個別に通学路の安全を確認し、必要に応じて然るべき対策を講じてください。（歩行者の安全が守られるような整備や通学区域外の中学校がより安全に通学できる場合は入学可能にするなど）	区立中学校の知的障害特別支援学級(固定)は、現在第八中学校及び大鳥中学校の2校があり、通学区域を定めています。通常学級のように隣接学校の入学希望制度や調整区域は設けていません。特別支援学級(固定)は統合後も継続して設置していくこととなり、第八中学校と第十一中学校の統合後の校地については今後選定を行ってまいります。いただいたご要望を踏まえ、具体的な取組については今後検討していきます。

整理番号	項目	区分	意見・質問（要旨）	回答・検討結果
66	学校運営・教育活動	意見募集	知的特別支援学級には、環境変化への対応に困難を抱える生徒や、ひとり通学ができるようになるまで保護者や支援者の送迎を要する生徒が、在籍していることがあります。そのような生徒やその家庭にとって、三年という短い中学校生活の間に学校統合や学校移転が行われることは、非常に負担となることが予想されます。在学中に統合・移転となる支援学級入学予定者についての事情を考慮し、大鳥中学校へ入学できるような特例を設けていただきたいです。	区立中学校の知的障害特別支援学級(固定)は、通常学級のように隣接学校の入学希望制度や調整区域を設けていません。特別支援学級(固定)は統合後も継続して設置していくこととなり、統合後の校地については今後選定を行っていきます。いただいたご要望を踏まえ、具体的な取組については今後検討していきます。
67	学校運営・教育活動	意見募集	目黒区には特別支援学校(小中学部及び高等部)がなく、児童・生徒は区外の支援学校に通っています。区内に支援学校があれば、児童・生徒とその家庭にとって、通学時の負担軽減、緊急時の迅速な対応、地域との強い繋がり等が期待でき、近隣の学校との交流により児童・生徒同士の相互理解が深まり、共生社会の実現に近づくことにもなります。加えて、区内の特別支援教育の強化にも繋がるのではないのでしょうか。統合後の跡地を利用し、特別支援学校を設置してもらえよう東京都への働きかけをしていただきたいです。	都立学校の設置については、設置者である東京都の所掌事項となっています。そのため、区から要望できる制度とはなっていません。教育委員会としては、引き続き、東京都の所管課に対し、特別支援学校の設置について保護者の方からのご意見やご要望があることを伝えていきます。
68	学校運営・教育活動	意見募集	統合時3年となる場合、部活はどうなりますか。 (チームスポーツの場合のチームワーク等について、個人競技の場合の引退試合への出場枠数など)	チームスポーツの場合のチームワーク等について、大鳥中学校の統合時には、移行期間中に第三中学校・第四中学校の一部の部活動が合同練習等を実施していました。なお、移行期間中から統合新校のチームとして活動していくことも考えられますので、今後検討していきます。個人競技の場合の試合への出場枠数など、区内の大会の実施に関することは中学校体育連盟目黒支部で決めています。現在のところ、区内中学校の大会(個人競技)には、希望する生徒全員が大会に出場することが可能になっています。
69	学校運営・教育活動	意見募集	クラブ活動について～文部科学省は少子高齢化の中で生涯スポーツ・教育の観点から「総合型クラブ」充実をあげています。目黒区もこの方向性をもった政策を地域とともにすすめるべきで、そもそも課外活動であり、教員の本来業務でもない部活動を統廃合の根拠にあげることは、教育政策としても矛盾があると考えます。文化・スポーツに対する子ども・保護者の願いを持続的にかなえることと統廃合とは結びつきません。	部活動は自発的な活動ではあるものの、学校教育活動の一環として、生徒にとって学校生活の魅力のひとつです。なお、総合型スポーツクラブなどの部活動の地域移行については国等の動向を踏まえつつ、今後適切な対応を検討していきます。
70	学校運営・教育活動	意見募集	統合に当たり、子どもたちに負担がないよう進めてほしい。	事前の交流活動などを通じて、新校への円滑な移行ができるよう準備を進めていきます。